

令和7年度 研究推進計画

Ⅰ 研究推進について

(1) 研究主題

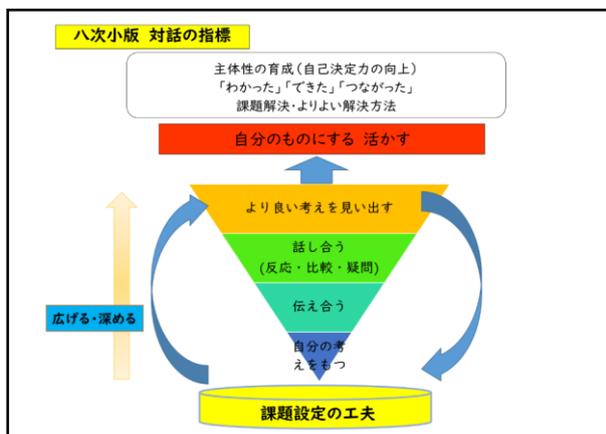
<研究主題>

主体的・対話的で深い学びのある授業づくり
～他者との対話から見方・考え方を働かせ、思考を深める児童の育成～

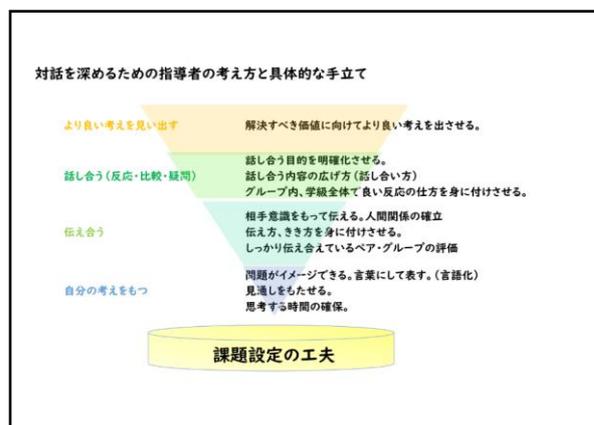
(2) 主題設定の理由

昨年度、研究主題として「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり～他者との対話から見方・考え方を働かせ、思考を深める児童の育成～」とし、これまでの道徳教育で培った児童同士の関わりを活かした算数科の授業に取り組んだ。具体的には、授業中に対話の場を多く設け、「聴き合い・訊き合う」（訊くために聴く）ことを大切に自分の考えを深める児童の育成に取り組んだ。その結果、児童は自分の考えをもち、積極的に近くの友だちに訊く等、対話を通じて思考を深める姿が見られるようになった。また、指導者は八次小版対話の指標を作成し（図1、図2）対話の高まりを意識して取り組んできた。しかしながら、児童の振り返りやアンケート、指導者の授業観察だけでは、対話の質がどの程度向上したか、児童の考えがどのように深化したかを客観的に評価することが難しいという課題が浮かび上がった。そして、「他者との関わりの中で算数科の見方・考え方を働かせながら、思考を深める。」の検証指標である、単元末テストにおいて、思考・判断・表現の項目で70%以上正答できる児童が80%以上の割合が全体で70%であった。成果や課題を分析すると、どの学年も図形領域に課題があった。また、生活経験に差があり、文章問題の意味が理解できない、イメージがもてない児童が多いことが分かった。また、立式はできて四則計算が正確にできないという課題があり、基本的な知識・技能の定着にも課題がみられた。

そこで、本年度も、昨年度の研究を生かしながら、算数科を中心に研究を進めることとし、児童の対話の質と思考の深化の関係を客観的な指標に基づいて検証し、改善していく。また、近年 ICT 機器を活用した授業づくりが推進されてきている。本校は、児童は一人一台の端末をもっている。児童の考えをより視覚的にまとめたり、考えを共有化しやすくしたりするための効果的な ICT の活用についても研修をしていくことが深い学びを実現すると考え、本主題を設定した。



(図1)



(図2)

(3) 研究仮説

算数科において、授業の中で対話が自然に生まれるような学級集団を作っていくことで、「見方・考え方」を働かせながら、思考を深めることができるだろう。

(4) 研究内容

研究の中心には、「他者との対話を取り入れた算数科の授業づくり」と「数学的な見方・考え方の整理」を据え、児童の思考を深める授業づくりを目指す。主な研究内容は次の2点とする。

1 他者との対話を取り入れた算数科の授業づくり

- ・前時の振り返りや問題解決の見通しを対話の中で行い、児童と共に本時の課題設定を行う。
- ・児童の思考が深まる効果的な ICT の活用

2 ICT を活用して指導者の見取り力を高められるように校内研修を改善する。

- ・令和6年度に研究した算数科における「対話を深めるための指導者の考え方と具体的な手立て」を基に、さらに児童が思考を深めるための対話の質の向上を目指す。「対話のルーブリック(指標)」を作成する。
- ・児童の姿から「対話のルーブリック(指標)」の分析、改善をしていく。

(5) 検証の視点と方法

| 検証項目 | 検証方法 | 検証指標 |
|-------------------------------------|---|--|
| 他者との関わりの中で算数科の見方・考え方を働かせながら、思考を深める。 | ・対話のルーブリック(指標) ・学力調査等の分析 ・単元末テストの分析 ・児童のノート記述等 | ・教職員、児童アンケートで他者との関わりの中で思考が深まったと回答する児童 80% |
| | | ・単元末テストにおいて、思考・判断・表現の項目で70%以上正答できる児童が80%以上 |

(6) 研究計画

| | | | |
|-------|-----|---|---------------------------------|
| 一学期 | 4月 | ○研究推進について ・児童の思考を深める質の高い対話の在り方とは何か、職員で議論して共通認識をもつ。 ○質の高い対話の指標(ルーブリック)作成 | ・アンケート実施 ・各月研究部会にて、取組の定期的な交流 |
| | 5月 | | |
| 夏季休業中 | 6月 | ○授業研究 ・対話の質の分析、改善【ルーブリック(指標)の改善】 | ↓ |
| | 7月 | | |
| 二学期 | 8月 | ○実践の交流 ・実践の成果・課題の明確化 ・2学期の方向性の確認 ・学習環境整備 | ↓ |
| | 9月 | ○授業研究 | |
| | 10月 | ・対話の質の分析、改善【ルーブリック(指標)の改善】 | |
| | 11月 | ○八次中学校区研修会(授業研究) | |
| 三学期 | 12月 | ○授業研究 ○授業研究 | ・学力調査分析 ・アンケート実施 |
| | 1月 | ○授業研究 | |
| 三学期 | 2月 | ○実践の検証 | |
| | 3月 | ・研究のまとめ ・実践の成果・課題の分析及び、児童の実態把握 ・次年度への研究の方向性 | |
| | | | |

※授業研究
指定研修等と兼ねる場合もある。
基本は一人一回授業研究を実施する。